

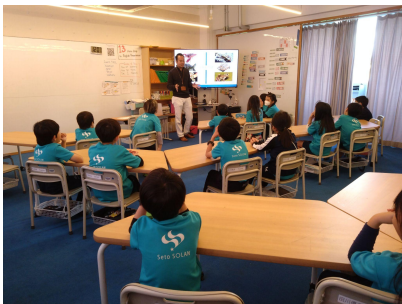


Special seminar「瀬戸川について」

先週の金曜日、Life Study「自分たちの学校のまわりを知ろう」のスペシャルプログラムとして、2年3組の表亮太朗さんのお父様に「瀬戸川」についてお話をいただきました。お父様は瀬戸市のご出身ではないのですが、「瀬戸川の生き物を守るためにできること」というテーマで家庭で亮太朗さんと「探究」を進めてきたそうです。今回お話された内容は、川の水質は川に住む生き物から判断することができることや川の水を元素まで調べ科学的に判断できること、川の危険な箇所、きれいな川でもマイクロプラスチックというゴミが問題になっていることなど、「瀬戸川」を切り口に数多くの視点で話をしてくださいました。

子どもたちの振り返りは「川のゴミ拾いをしたい」「外来種を初めて知った」「今度探究でやってみたい」など書かれており、今後の生活や学習につなげようとする子どもたちの意欲を感じました。

今後も保護者の皆様のお力添えをいただきながら学習を進めることができたらと考えております。子どもたちにとって一番身近な「プロフェッショナル」の話は保護者の皆様にほかなりません。「このような話ができる」などもしご提案をいただけるようでしたら、ぜひ2年の教員にお声かけください。相談でもかまいません。子どもたちのよりよい学びのためになにとぞよろしくお願いいたします。



【子どもの感想から抜粋】

「瀬戸川に住んでいる外来種の種類は何種類か疑問に思った。自分も川をきれいにしたいと思った」

「探究で川のテーマにしたいくなりました。話を聞いてほくも川をきれいにしたいです。昔、川が白いことが分かって町の人みんながきれいにしようと思いました」

「なぜ外来種はどうやって日本の遠い川からどうやってきたか？そして川が汚かったらそこをきれいにしたいと思います。川だけでなく海でも気をつけたいです」

「瀬戸川は地域の人たちが白くなってたのを直したのはすごいと思った。今度はSOLANの子たちだけで瀬戸川をきれいにしたいと思った。今度から2分でもいいから瀬戸川の川でもいいからゴミ拾いをしようと思った」

「外来種がいるのは分かっていたけれど、在来種がいるのは知らなかったのが勉強になりました。私も川にゴミがあるのは分かっていたけど、あんなにごみがあるのかは知らなかったのが、勉強になりました」

「元素記号のHが2つ、Oが1つでH₂Oというなんて知らなかったです」

「瀬戸川を守るためには、自分の近くの川を調べて環境のことを知りたい。あと川が好きだから川をきれいにしたい」